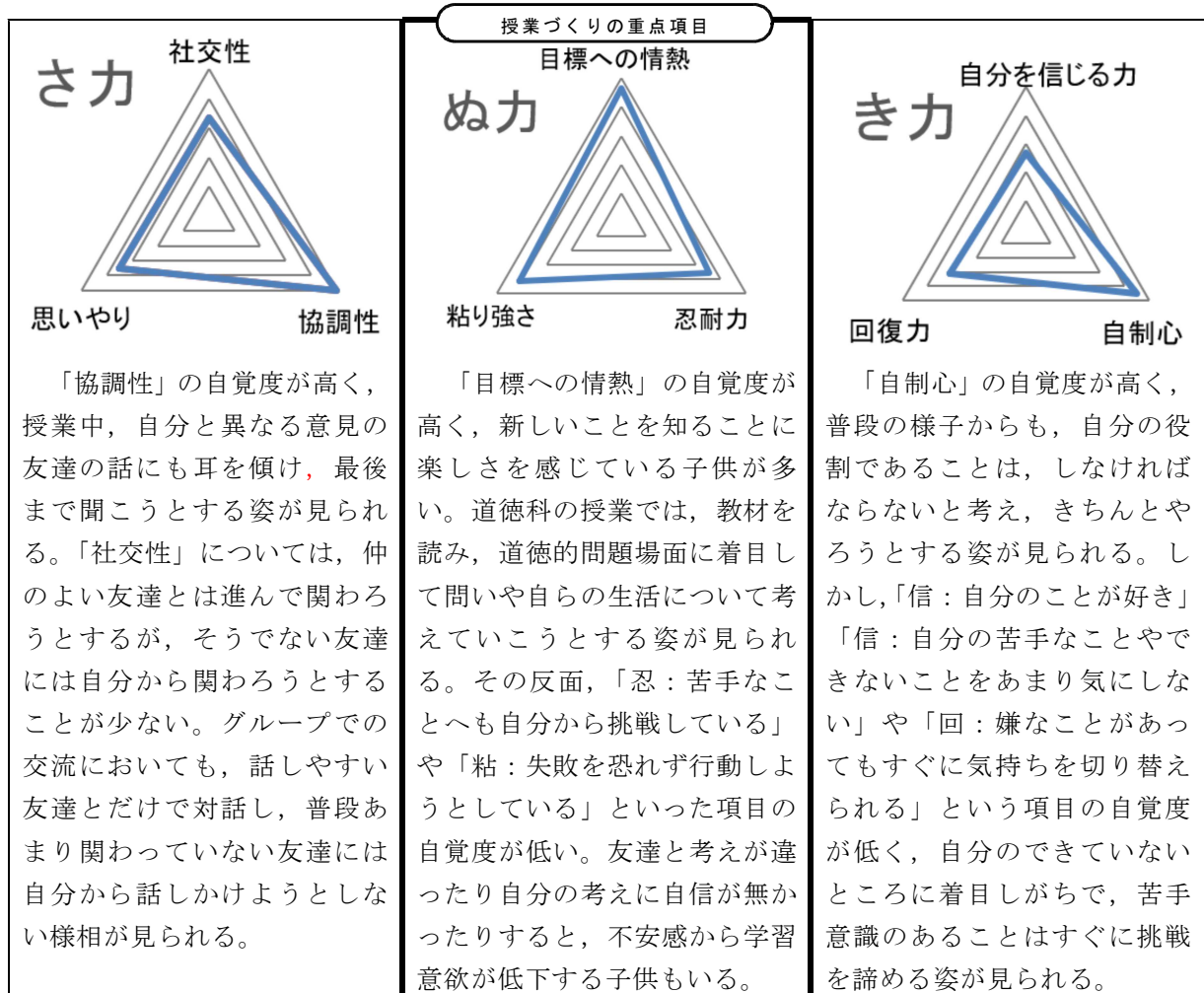


## 第4学年東組 道徳科学習指導案

「どちらが正しいのかな ～『クラスたいこう全員リレー』

[A 善悪の判断, 自律, 自由と責任] ～」 学習指導者 安岐 美佐子

### 1 「さぬき力」(非認知能力)に関する子供(35名)の実態



### 2 内容項目に関する子供の実態

①友達がやっていることは間違っているな、と感じる場面に出合ったことはありますか。

はい33名、 いいえ2名

②正しいことを実行しようと思ったけれど、実行できなかったという経験はありますか。

はい34名、 いいえ1名

③(②について)それは、どんなことですか。どうしてやめたのですか。

- ・自習の時に、喋っている友達がいたが、言い返されるのが嫌で言えなかった。
- ・昼休みが終わって掃除の時間の放送がかかっていたから、片付けした方がいいと言いたかった。友達は、まだしたそうだったから。

### 3 個別支援が必要な子供の実態

A児…自分の興味をもてないことについて、取り組む意欲をもてず、進んで友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることが難しい。また、学級のみんなで取り組むことについても同様の様子が見られる。自分が興味のあることについては、進んで発言することができる。

#### 4 教材『クラスたいこう全員リレー』（学研：『みんなの道徳 4年』）のあらすじ

そうたの学年で、クラス対抗の全員リレーが行われる。休み時間の練習中、順番やバトンの受け渡しのことで言い争いになることもあったが、話し合っ解決し、全員の心が一つになってきた。ただ、みんなは、たけしの足が遅いことやバトンがうまくつながらないことを気にしていた。大会が迫ってきたある日、たけしがかぜで学校を休み、大会の前日に登校したが、みんなは、たけしをチームから外すという意見を出す。そうたは、チームから外すことは正しくない分かっているが、何も言えなかったのである。

#### 5 目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

物事の善悪についての的確に判断する際、よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じる場所に従って、誠実かつ謙虚に行動することが重要である。中学年においては、様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことについての判断力が高まってくる。しかし、正しいことと知りつつも、なかなか実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周囲に流されたりして、自分の弱さに負けてしまうこともある。

本学級の子供たちの生活の中では、友達の意見に流されるなどして自分の信じることを実行できなかった場面が身近に起きている。そのような経験を想起し、自分事として正しいと判断したことを実行するために大切な心を考えていく。大切な心について話し合う際には、『未来を考える』心を大切にしたい。たけし君を外して走って勝っても素直に喜べないし、後で後悔すると思う』『自分を信じる』心が大切だと思う。友達がとにかく勝ちたいと言っても、仲間外れとか間違っことはしたくない」「そうか。後悔しないためにも、自分が正しいと思っことは友達と意見が違っいても、自信をもって行動したいね。そうすると心がすっきりすると思うよね」などと対話していく。その中で、正しいことを行わないと後ろめたい気持ちになることや、自信をもって正しいことを行うと充実した気持ちになることなど、善悪の判断について多面的・多角的に理解を深めていくのである。そして、その理解を基に、自分の課題やよさを見つめ、自己の生活において、正しくないと思っことは人に勧めないことや、人から勧められた時には断つたり、止めたりするなど、物事の善悪について自信をもって判断し、行動しようとする姿を目指したい。

#### 6 主張点

##### (1) 自分自身の問題として受け止めるようにするための働きかけ【私はそうたロールプレイ】

「クラス対抗全員リレー」の約束を確認した後、教師と子供たちで教材の道徳的問題場面を再現し、ロールプレイを行う。教師が「たけしがいなかつたら、勝てるかもしれないよ」などと投げかけ、正しいことを実行することの難しさを感じられるようにしながらロールプレイをする。教材の問題場面を体験的に捉え、教材と自分とを繋ぎ、自分事として考えられるようにする。ロールプレイの中で強く感じた、正しいと思っことを実行することの難しさを基に、事前読みでの子供たちの問の中から本時の目当てとなる問いを選んだりまとめたりしていく。

##### (2) 多様な考えを理解できるようにするための働きかけ【考え採集タイム、カード】

そうたが「たけしもリレーと一緒に出るべきだ」と言うか迷った結果、言えなかつ場面が本教材の中心となる道徳的問題場面である。『自分だったら、正しいことを言うためには、どの心を大切にするか』と主発問を行い、キーワード化して示した「思いやり」「未来を考える」「自分を信じる」など、正しいことを言うために大切な心の中から一番大切だと思っものを選択し、そのキーワードと同じ色の付箋を選ばせる。その後、全員の考えを学習支援アプリで共有し、一覧で示すことで、自分と友達の考えの違いを視覚的に捉え、友達の考えの理由を聞きに行きたいという思いを高める。また、対話した相手の考えを自分のアプリ上のノートに貼り付ける。そうすることで、多様な考えに触れ、善悪の判断について多面的・多角的に考えられるようにする。

##### (3) 自分のよさを実感し、これからの生き方につなげる働きかけ【これからの自分、実行の自信度】

導入場面で提示したアンケート結果を提示し、生活の場面を想起させた後、まず「これからの自分」について記述し、次に、これからの自分で考えたことに対して実際に正しいと判断したことがどれくらいできそうか「実行の自信度」を表出する時間を設ける。そうすることで、善悪の判断を基に実行することのよさや難しさを確認し、今後の生き方について深く考えられるようにする。

7 本時の学習

ね ら い	正しいと思ったことを実行するために大切な心について考えたことを、友達と対話することを通して、善悪の判断について理解し、その理解を基に、自分の生き方について考え、これから自らの正しいと信じる場所に従って行動しようとする態度を養う。
-------------	--

学習活動	主な子供の意識
導 入	<p>1 目当てを設定する。 【私はそうしたロールプレイ】</p> <p>そうたは、たけしも一緒にリレーに出た方がいいと言えなかったね。 全員リレーだから、たけしも一緒に出ることが正しいことだよ。 でも、周りの友達がみんな外すって言うなら、僕も勝ちたいとは思って、一緒に出た方がいいと言うのが正しいことだけど、言うのは難しいな。 正しいことを言うために大切な心が何か考えたらいいんじゃないかな。</p> <p style="text-align: center;"><b>正しいことをするためには、どんな心が大切なのだろう</b></p>
展 開	<p>2 そうたの行動から正しいことを言うために必要な心について考える。</p> <p>たけしが練習を頑張っていたことをたけしの代わりにみんなに伝えてあげたかったんだよ。仲間外れはかわいそうだし、自分だったら辛いよ。 『思いやり』の心だね。</p> <p>全員リレーは、みんなが出ることに意味があるから、たけしを外すのは間違っている。友達が何と言おうと、間違っていることはそのままにせず間違ってるって言わないと。 『自分を信じる』心だね。</p> <p>ずるをして、たけしがいない全員リレーで勝っても嬉しくないよ。たけしも辛いし、みんなだつてたけしをリレーから外したことをずっと後悔すると思う。 『未来を考える』心だね。</p> <p>3 自分が一番大切にしたい価値を選び、その理由を交流する。 【考え採集タイム、カード】</p> <p>自分だったら、正しいことをするためには、どの心を一番大切にしたいかな。 『思いやり』だよ。相手の立場に立って考えたら、自分だけでなくみんなが笑顔になるように行動したいな。 『自分を信じる』だよ。友達が間違っていたらちゃんとやらないと。正しいことは言うべきだと考えるからだよ。 『未来を考える』だよ。後で後悔しないか、誰かが傷付かないかと考えればよかったと思ったからだよ。</p> <p>友達の考えを聞いて、正しいと思ったことをするためには、どの心も大切だと思ったよ。何が正しいことを判断して、後で後悔しないように行動することが大切だと改めて気付いたよ。</p>
終 末	<p>4 本時の学習を基に、自分の生き方を振り返る。 【これからの自分、実行の自信度】</p> <p>今までは相手の気持を考えて言おうと思っていたけど、なかなか言えなかった。これからは、周りに合わせるのではなく、自分が正しいと思ったことは、流されないように行動したい。 実行の自信度は70%。周りの目が気になるけど、正しいことを伝えたいと思ったよ。</p> <p>友達の考えから、その後のことを考えることも大事だと気付いた。これからも自分の言葉に責任と自信をもって正しいと思ったら行動していきたい。 90%。これまでのように、自分のことを信じて行動したいな。</p> <p style="text-align: center;">今日考えた心を大切に今後生活につなげたいな。</p>

評 価	正しいと思ったことを実行するために自分が一番大切にしたい心を表すキーワードを選び、その理由を対話することを通して、善悪の判断について多面的・多角的に考えを深め、自分のよさや課題に気付いて、正しいと判断したことを行う気持ちを高めている。【方法：発言・様相・記述】
--------	--

## 8 働きかけの詳細

### ～導入（見通し）～ **学習活動1** 【私はそうたロールプレイ】

始めに、事前読みでの感想を紹介すると共に、事前アンケートの回答にあった授業開始のチャイムを守っていないことや自習の仕方についてのエピソードを共有し、教材文の問題場面と自分の身近に起こっていることを繋ぐ。次に、挿絵を提示しながら場面把握を行い、「クラス対抗全員リレー」は全員で出ることの意味があることを確認する。その後、教師が周りの友達役、子供たちがそうた役でロールプレイを行う。教師が、「たけし君がいなかったら勝てるかもしれないよ」と投げかけたり、周りの友達役を増やしたりして、自分の意見が少数となる状況を作り、正しいことは分かっているながらも実行することの難しさを感じられるようにすることで、教材と自分とを体験的に繋ぐ。そして、そこで感じた難しさを基に、子供たちの問いから選んだりまとめたりすることで、「正しいことを言うためには、どんな心があればよいのか」といった目当てを全体で共有し、意欲的に考えられるようにする。



【私はそうたロールプレイ】

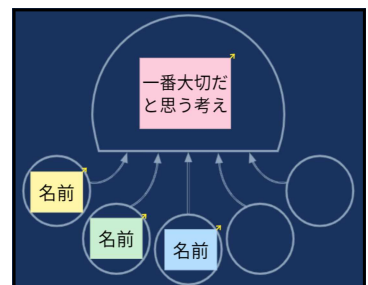
### ～展開（行動）～ **学習活動2** **学習活動3** 【考え採集タイム、カード】

学習活動2では、正しいことが言えなかった時の気持ちに打ち勝って、正しいことを言うために大切な心を考えていく。出された考えを内容ごとにまとめながら板書していく。その中の言葉から、「相手を思いやる」「未来を考える」「自分を信じる」などの正しく善悪の判断をして自信をもって行動することの理解につながるキーワードごとに色分けしてまとめていく。

学習活動3では、キーワードの中から自分が正しいことを言うために一番大切にしたい心を選択し、板書に示したキーワードと同じ色の付箋紙を学習支援アプリのノート上で選ばせる。その後、クラス全員分の選んだ心をアプリで一覧にして提示する。そうすることで、自分と友達の考えの異同に着目できるようにすると共に、理由を聞きたい交流相手を見付けられるようにする。考え採集タイムでは、色の異同を基に、その心を選んだ理由について聞き合う時間を設ける。対話した友達の考えの付箋紙はクラゲの足の部分に貼っていき、対話したことを踏まえて一番大切だと思った考えをクラゲの頭の部分に位置付ける。そうすることで、正しいことをするために必要な心について自分と異なる考えに触れられるようにし、善悪の判断について多面的・多角的に考えると共に、他者理解を深められるようにする。交流の際、A児については、自分と異なる意見の友達と一緒に見付け、話しやすい友達を決められるようにする。

鈴木	山田	佐藤	山本	清水
小林	高橋	中村	松本	加藤
木村	伊藤	井上	吉田	山口

【クラス全員の考えを共有】



【考え採集タイムで集めたカード】

友達の付箋紙を貼り付けたクラゲチャートを再度提出させる。そして、頭の部分に貼っている一番大切だと思ふ考えの付箋紙について全体で問い、友達の意見を取り入れたことで善悪の判断についての考えが深まったことを感じさせたい。

### ～終末（振り返り）～ **学習活動4** 【これからの自分、実行の自信度】

授業の始めに提示したアンケートに再度触れて具体的な場面を想起させ、「これからの自分」についてノートに記述する時間を設定する。これからしていこうとすることの理由を問い、自分の課題を改善しようと向き合ったり、前向きに取り組もうとしたりしている思いを表出させ、称賛することで自分のよさを感じられるようにする。その後、記述したこれからの自分について、正しいと思ったことをどれくらい実行できるかの「実行の自信度」を記述させ、その理由を問う。ここでは、善悪の判断を基に実行することのよさだけでなく、行動することの難しさを感じている子供の考えを取り上げ、人間理解を深められるようにする。正しいと思ったことを実行することは難しいこともあるけれど、実践していこうという思いを高めたことを中心に取り上げ、実践する意欲を高められるようにする。



【振り返りの観点】